

真夏の雪に 宝物探そう 六甲山で「まつり」開幕



約100トンの人工雪で雪遊びが楽しめる「真夏の雪まつり」が16日、六甲山力ンツリーハウス（神戸市灘区六甲山町）で始まった。夏の日差しの中、子どもたちは歓声を上げながら冷たい雪をかき分けて宝物を探した（写真）。9月11日まで。

今年で38回目の恒例の催し。人工雪を広場に敷き詰め、雪の中に埋めたおもちゃなどをを探す「宝さがしひーム」を開催。今年は高さ約2㍍の巨大かき氷も登場し、来場者は記念撮影を楽しんだ。

広島県呉市の岸本琉聖君（7）、大楽君（4）兄弟は、父直樹さん（41）の実家がある宝塚市に帰省中。10個以上の宝物を探し出し、琉聖君は「あちこち掘つたらいい出でてきた」と満足顔。大楽君も「足が冷たいけど楽しかった」と喜んだ。

尼崎市の大曲亜宙君（6）は午前10時半～午後5時半）。雨天中止。同ハウスは参加無料（別途入園料が必要）。8月31日までの毎日と、9月3～11日の土日に開催。午前11時半～午後4時半（8月の土日は午前10時半から。8月11～15日は午前10時半～午後5時半）。雨天中止。同ハウス

き分けおもちゃを獲得。慎也さんは「最近暑いので、こういうイベントはうれしい」と話していた。

也さんは「最近暑いので、も父慎也さん（42）と雪をか

6 **078・891・0366**
(高田康夫)